

金沢大学での都市計画の教育研究  
—1976～2013—



2013年5月

川上光彦

## はじめに

本年3月に金沢大学の規定により定年退職いたしました。金沢大学には1976年4月より2013年3月まで在籍したことになります。その間、多くの方々を送別しつつも、自分自身は随分先のこととと思っていましたが、過ぎてみれば、まことに早く過ぎた年月のように感じられます。一つの区切りでもありますので、これを機会に、これまでの金沢大学における教育研究活動の内容を記録した資料を作成したいと思いました。最初は、研究論文リストだけの内容を思っていたのですが、作成していくうちに、それらに関連した諸々の活動やその成果も整理したいという思いが強くなりました。本書は、そうした内容により構成されています。

内容として、まず、指導教員として関わった、博士・修士・学士の論文、および、それらの成果などをもとに、できるだけ研究室生とともにとりまとめ、関連学会で発表した学術研究論文を整理しています。また、それらとも関連していますが、これまでに取りまとめた著書や報告書、解説・総説的な論文のリストも整理しています。さらに、行政などからの依頼により行った、講演やシンポジウムのコーディネーターなどについても整理して示しています。その他に、研究室の行事として行った活動、および、地域貢献的な社会活動についても説明しています。また、行政からの依頼などにより参加した各種の委員会や審議会などについても整理しましたが、これについては古い時期のものは資料があまり無いこともあり、近年の主なものの例示に留まっています。最後に、これらの内容に関連したものをいくつか選定し、参考資料として添付しています。

これらの内容や資料を整理していると、それぞれの当時の思いがよみがえってきました。懐かしいもの、楽しいものなども多くありましたが、中には、自分の浅学非才を恥じるような思いをすることもありました。これらに関わっていただいた多くの方々に心より感謝するとともに、ご迷惑をおかけしたことについてご容赦をお願いいたします。

自分自身としては、大学教員としての教育研究上の一定の役割は果たしたと思っていますが、都市計画を専門とすることもあり、それに関わる社会的活動が比較的多かったことが特徴ではないかと思っています。全体として、地方の大学に在籍していることによる制約もありましたが、大都市からは離れた地域において、とくに金沢というまことに魅力的な都市を研究や実践の主なフィールドとして、多くの方々と協働して様々な活動をできたことはまことに幸運でした。

今後は、引き続き、金沢の地で、若干の教育研究活動を継続するとともに、これまでの経験を生かしながら、社会的な活動も行ったり、住民や市民のまちづくり活動の支援を行ったりできればと思っています。また、そのような機会にお付き合いをお願いするところがあるかと思いますが、どうかよろしくをお願いいたします。

2013年5月

川上光彦

## 川上光彦先生退職記念講演会・祝賀会のご案内（転載）

拝啓 早春の候、皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、金沢大学理工研究域環境デザイン学系教授 川上 光彦先生は金沢大学の定めにより、来る平成二十五年三月末日をもって金沢大学を定年退職されることになりました。

先生は、昭和四十五年三月京都大学工学部建築学科を卒業、同四十七年三月同大学大学院工学研究科を修了され、同五十一年四月金沢大学助手に採用、同五十年五月講師に昇任、同六十年三月助教授に昇任、平成二年二月教授に昇任されました。また、昭和五十九年十一月に京都大学より工学博士の学位を授与されています。この間、先生は永年にわたって、都市計画学の教育、研究に努められ、また土木建設工学科長、環境デザイン学系長として学科・系の運営、優秀な人材の育成と大学の発展、および、地域の都市づくりに貢献されました。

学術研究面において先生は、都市計画学を専門分野とされ、とりわけ以下の研究は特筆すべきものがあります。

### ① 都市計画制度に関する研究

わが国における都市計画制度の適用実態とそのあり方について、主として地方都市を対象とする調査研究を行い、その成果として学術研究論文を数多く発表され、「地方都市の都市計画」を分野として確立することに大きな貢献をされました。その研究成果は、「都市計画」として出版され、大学や高等専門学校の教科書として広く利用されています。また、編著の「まちづくりの戦略」、「人口減少時代の土地利用計画」および「地方都市の再生戦略」は、自治体の担当者やコンサルタントなどの専門家に広く活用され、全国の都市づくりに生かされています。

### ② 歴史的市街地の都市計画に関する研究

歴史的市街地の居住環境整備、歴史的建築物・町並みの景観の保全・修景について、金沢市などを事例として研究し、その成果は数多くの学術研究論文として報告され、この分野の学術的発展に大いに貢献されました。また、研究成果の応用として、金沢市にこまちなみ保存条例などの自主条例を提案され、実際に制定され運用されています。さらに、特定非営利活動法人金澤町家研究会理事長として金澤町家の継承・活用に努められています。このように、先生の研究成果は、学術的な貢献に留まるだけでなく、実際の歴史的な市街地や建築物の整備、保全に生かされています。それらの功績に対して、金沢市からは、平成二十一年十月に文化活動賞、日本都市住宅学会より平成二十二年十一月には業績賞を授与されました。

### ③ 住宅計画に関する研究

地域における住宅需要の実態、住宅ストックの維持管理システム、公的住宅の計画支援システムの開発などの住宅計画に関して研究され、その成果として多くの学術研究論文を発表されました。また、その成果は、新しい分野としての住宅需要供給計画における計画支援システムの発展に大いに貢献されました。

教育面において先生は、都市計画研究室（講座）の教授として都市計画制度や歴史的市街地の整備に関する研究活動を行う等、学生・院生の教育に尽力され、多くの優秀な人材を輩出されました。また、土木建設工学科長や環境デザイン学系長在任中には、同学科の教育体系の充実の面に力を入れ、その中で、建築学副専攻の創設に貢献されました。

先生は、平成七年十月より石川県土地利用審査会会長、平成十八年三月より同県都市計画審議会会長、平成六年十二月より同県開発審査会副会長、同二十五年一月より同会長として、同県の都市計画行政の発展に貢献されています。また、富山県都市計画審議会委員、同県都市景観審議会委員として同県の都市計画行政の発展にも貢献されています。さらに、平成三年二月より金沢市まちづくり専門員、平成十年十月より同十六年三月まで同市都市計画審議会委員、平成十五年一月より同市商業環境調整審議会委員、平成二十三年四月より同会長として、同市の都市計画行政の発展に貢献されています。

その他、都市計画やまちづくりに関わるネットワークづくりや市民活動にも積極的に取り組まれてきました。昭和六十年頃より「地域・都市計画研究会」を十年間程度立ち上げられ、都市計画・地域計画に関わる行政担当者やコンサルタント、大学研究者の方々の参加を得て、勉強会や交流活動を行われています。また、平成五年からスタートしたバリアフリー研究会に参加され、同十年頃から同十九年まで代表幹事として石川県におけるバリアフリー環境の整備推進のための活動を行われています。さらに、金沢市による「金沢世界都市構想および金沢世界都市戦略会議」に参加し、市民的まちづくり活動推進のための組織設立を提言され、それをもとに平成十五年に設立された「金沢まちづくり市民研究活動」にディレクターとして参加され、参加された一般市民とともに、市民参加によるまちづくり活動推進のための調査研究を行われ、金沢市に研究成果にもとづいた提案を行うとともに、まちづくりのための市民的リーダーの育成に貢献されました。

学術交流活動において、国内では、平成十二年五月から平成二十三年十一月まで日本都市計画学会評議員、平成二十四年十一月より同学会会長アドバイザー会議委員として、同学会の発展に寄与されています。また、平成六年四月より平成十年三月まで地方都市小委員会主査、および、平成十七年四月より平成二十一年三月まで日本建築学会都市計画委員会土地利用小委員会主査として、地方都市の都市計画や土地利用計画の研究の発展に貢献されました。

また、国際的には、東アジア地域における研究交流活動も活発に行われ、中国や台湾の諸大学との研究交流活動を進められ、また、多くの招待講演を行っておられます。それらの成果をもとに、平成二十三年七月には、金沢大学において第一回の「持続可能な空間計画と開発に関する国際会議 (SPSD2011, International Conference on Spatial Planning and Sustainable development)」を開催され、その成果は Springer 社より平成二十五年に出版されるとともに、新しい国際学術誌” International Review for Spatial Planning and Sustainable Development” を創刊されています。

このたび、川上光彦先生のご退職にあたり、先生の永年のご功績とご尽力に謝意と敬意を表すとともに、先生の今後のご健康とさらなるご活躍を皆様とともに祈念させて頂きたく、左記の通り、川上光彦先生の退職記念講演会・祝賀会を企画いたしました。つきましては、この趣旨にご賛同くださり、皆様のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

敬具

平成二十五年三月吉日

川上光彦先生退職記念講演会・祝賀会実行委員会  
幹事長 高山純一

川上光彦先生退職記念講演会・祝賀会

一、記念講演会

演題「教育研究及び社会的活動を振り返って」

日時 平成二十五年五月十八日（土）午後四時三〇分～五時三〇分

場所 金沢エクセルホテル東急 五階 ボールルーム

（〒九二〇一〇九六一金沢市香林坊二ノ一ノ一 電話 〇七六一二三一一二四一一）

定員百二十名

一、記念祝賀会

日時 平成二十五年五月十八日（土）午後六時～八時

場所 金沢エクセルホテル東急 五階 ボールルーム

## 目 次

I. 著書・報告書	1
I-1 著書	1
I-2 報告書	3
II. 解説・総説	6
III. 研究論文	10
III-1 都市計画	10
III-2 計画支援	16
III-3 住宅関連	19
IV. 研究報告	21
IV-1 Proceeding	21
IV-2 研究報告	24
V. 主な研究室活動、および、社会的活動	27
V-1 研究室等の活動	27
V-2 研究会等の活動	31
V-3 講演・シンポジウム	40
V-4 各種審議会・委員会（主なもの）	49
VI. 研究指導	51
VI-1 博士論文	51
VI-2 修士論文	52
VI-3 卒業論文	56
参考・関連資料	69
「金沢大学在籍を振り返って」、金沢工業会誌、No. 171、p. 1、2013. 4	71
「地方都市の再生戦略」序文、2013. 3	72
「歴史都市 金沢の歩みー都市づくりの特徴と課題ー」、都市計画、Vol. 62 No. 1、 pp. 10-13、2013（解説・総説の例）	73

川上光彦、大西宏樹、形態規制による建築利用可能空間と建築物のモデル化と それを用いた形態規制評価、日本建築学会計画系論文集、第78巻 第687号、 pp. 1041-1048、2013. 5（研究論文の例）	77
新聞掲載例	85
「参加型計画の理論と技法」、金沢大学公開講座案内、2003年度	91
「金沢まちづくり市民研究機構活動記録誌」序文等、金沢市、2013. 3	92
最終講義写真	95